

職務執行状況報告書

(2022年6月14日から2023年3月27日まで)

1 競技

- 第20回アジア競技大会実施競技の決定に向けて、アジア5地域及びアジア・オリンピック評議会（OCA）提案競技に係るOCAとの調整や組織委員会提案競技の選考方法及び選考スケジュールについて、JOC等との調整を進めた。

〈参考〉 第20回アジア競技大会（2026/愛知・名古屋）の実施競技

①パリオリンピック実施競技（追加競技含む）	【32競技】
②アジア5地域での普及を考慮して決定される競技	【5競技】
③組織委員会提案競技	【最大2競技】
④アジア・オリンピック評議会（OCA）提案競技	【最大2競技】

2 競技大会施設

（1）競技会場

- 第20回アジア競技大会の調整中の競技会場の仮決定に向けて、引き続き国内競技団体や施設所有者等との調整を進めた。
- 第5回アジアパラ競技大会の競技会場の選定に向けて、国内競技団体や施設所有者等との調整を進めた。
- 着実な会場整備に向けて、関係者動線や運営諸室等の配置計画を順次作成するとともに、競技会場の共通仮設物の標準仕様の作成等、仮設整備の基本設計に向けた調整、検討を行った。

（2）選手村

- 2021年度に作成した選手村施設計画を基に、ダイニングやランドリー等各施設の配置や仕様のほか、提供されるサービスや機能に応じた運営方法、動線等を検討した。また、先行して整備する後利用施設について、選手村仕様に係る基本設計を進めた。
- メイン選手村から離れた競技会場を使用する選手団について、必要となるサービス及び機能、客室数等に応じ、利用候補となる宿泊施設を仮選定し、充足率の調査を行うとともに、仮配宿計画の作成を進めた。

3 大会関係者の宿泊

- ・OCAファミリーやAPCファミリー、メディア等の大会関係者の区分毎に、配宿基準に応じ、利用候補となる宿泊施設を仮選定し、充足率の調査を行うとともに、仮配宿計画の作成を進めた。

4 大会関係者及び観客の輸送

- ・2021年度までに行った競技会場輸送に関する調査を踏まえ、輸送手段や輸送ルート等の検討を行い、輸送計画Ver. 1の作成を進めている。また、空港や宿泊施設の輸送に関する具体の運用について、検討を進めた。

5 メディア

- ・放送権者へ提供する競技映像・音声について、クオリティなどの制作方針を検討した。
- ・報道関係者及び放送事業者の活動拠点となるメインメディアセンター（MMC）の設置に向け、機能・規模を整理し、基本計画を作成した。

6 国際関係

- ・2022年10月に開催されたOCA総会及び12月に開催されたAPC理事会において、大会開催準備状況を報告した。
- ・2022年10月にOCA役員が来名した際に、準備状況の進捗説明及び競技会場の視察対応を行った。
- ・2023年に開催が延期となった第19回アジア競技大会（2022/杭州）及び杭州2022アジアパラ競技大会の現地調査に向け準備を進めた。

7 警備

- ・競技会場10会場の警備計画及び警備ガイドラインVer. 1を作成した。引き続き他の競技会場の警備計画及び精度を上げた警備ガイドラインVer. 2の作成に向けた検討を進めた。

8 宣伝活動

- ・地域と連携して大会機運の醸成を図るための仕組みを策定するとともに、大会通信の発行、アスリートや県民市民が参加した企画のSNSでの発信等のPRを実施した。
- ・愛知学長懇話会内に設置された「2026年アジア競技大会・アジアパラ競技大会専門委員会」、開催都市である愛知県及び名古屋市と大学連携についての意

見交換及び方向性の確認を実施した。

9 マーケティング

- ・ スポンサー（パートナー）獲得等を担うマーケティング専任代理店候補企業との契約が締結に至らなかったことから、改めて公募でのマーケティング代理店選定に向けて、準備を進めた。

10 アジアパラ競技大会に向けた準備

- ・ 開催都市契約締結に向けて、APC、日本パラリンピック委員会（JPC）並びに開催都市と調整を行った。
- ・ 開催都市契約締結後速やかにAPCに提出することができるよう、大会開催基本計画の策定に向けた準備を進めた。
- ・ 他の大規模国際イベントや東京2020の事例等の情報収集を行い、開催都市とアクセシビリティ対応に係る整理を行った。